

つけたい力

収集した情報を整理分析し、
分かりやすく伝える力

- ・学びへの主体性を高めるための魅力的な単元のゴール設定と単元の全体像を子どもと共有する。
- ・わかりやすく伝えるために、思考ツールやまとめる方法を子どもに選択させる。

取組みの概要・ポイント

具体的な取組みの内容 常にゴールを意識し、相手にわかりやすく伝える

【つかむ】 単元のゴールと計画を掲示し、常に意識できるようにするための単元マップ

★特徴①【見てわかる！子どもと歩むロードマップ】

子どもたちが確認できるように常に教室に掲示。子どもたちは、単元計画を見ながら、休み時間に学習を進めていることもある。

【集める】 出典を明らかにして情報を集めるための情報カード

★特徴②【それ本当かな？！情報モラルは普段の授業から】

出典を明らかにした情報収集を意識づけする。低学年では、必要な情報を集められるように、単元ごとにカスタマイズすることもある。

【整理・分析する】 集めた情報を整理分析するための思考ツール

★特徴③【これでやる！思考スキル向上にむけて、自ら選ぶ思考ツール】

授業ではさまざまな思考ツールを紹介し、使用している。また、思考スキルを高めるために思考ツールの選択場面を意図的に設定している。

【まとめる】 相手に合わせて、いろいろな方法で表現するためのまとめの自己選択

★特徴④【相手意識！伝え方の工夫は相手の姿が見てこそ】

相手を意識した情報収集・整理分析・まとめになるよう、単元マップの活用や授業中の声かけで丁寧に意識づけをしている。

【振り返る】 見通しを持った振り返りで、学習を調整させるためのふりかえりシート

★特徴⑤【単元を通じた学びの自己調整で学ぶ力を高める】

単元の見通しを持つとともに、自分の変容を実感。子どもたちは、ふりかえりシートを確認しながら、その日の授業の活動やふりかえりに生かしている。

取組みを通しての子どもの変容

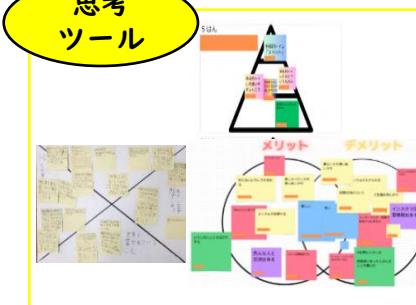
- ・活動の中で相手を意識する言葉が増えた。「こっちの方がわかりやすい！」「〇〇の好きな▲▲を使おう！」
- ・学習を積み重ねることで、思考ツールの良さを実感し、子どもたちが自分で思考ツールを選ぶようになった。

本校ポータルサイトから
ダウンロードできます。

単元 マップ



思考 ツール



まとめ の 自己選択



情報 カード

月	日	曜日
調べること		
わかったこと		
出典	本	本(リリース)の名前
インターネット	個人	個人(著者)
その他	施設	施設名
	ページ	ページ

単元名	名前()		
お話を生まれたよ			
お話をその後をうぞうぞして、 えにあらわそう。			
日付	めあて	マーク	ふりかえり
学しゅうの見とおしも のついたをと うそ			
クラゲーターを つかって、大きな魚を おひなしたあどどう なたかうりそう。			
大きな魚をおい出した あどくスイーの うそをとに あらわそう。(1)			
大きな魚をおい出した あどくスイーの うそをとに あらわそう。(2)			
大きな魚をおい出した あどくスイーの うそをとに あらわそう。(3)			

ふりかえり シート

